

# 北中城村地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

令和 7 年 3 月

北中城村

## 目 次

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 1. 地球温暖化について          | 1  |
| (1) 気候変動の影響           | 1  |
| (2) 地球温暖化対策を巡る国際的な動向  | 1  |
| (3) 地球温暖化対策を巡る国内の動向   | 1  |
| 2. 基本的事項              | 3  |
| (1) 計画策定の目的           | 3  |
| (2) 対象とする範囲           | 3  |
| (3) 対象とする温室効果ガス       | 3  |
| (4) 計画期間              | 3  |
| (5) 上位計画及び関連計画との位置づけ  | 3  |
| 3. 温室効果ガスの排出状況        | 5  |
| (1) 温室効果ガス総排出量        | 5  |
| (2) 温室効果ガスの排出削減に向けた課題 | 10 |
| 4. 温室効果ガスの排出削減目標      | 11 |
| (1) 目標設定の考え方          | 11 |
| (2) 温室効果ガスの削減目標       | 11 |
| 5. 目標達成に向けた取組         | 12 |
| (1) 取組の基本方針           | 12 |
| (2) 具体的な取組内容          | 13 |
| 6. 計画の進捗管理体制と進捗状況の公表  | 22 |
| (1) 推進体制              | 22 |
| (2) 点検・評価・見直し体制       | 23 |
| (3) 進捗状況の公表           | 23 |

### ○添付資料

- (1) 温室効果ガス排出に係る活動量集計表
- (2) 「地球温暖化対策計画の概要」（令和7年2月）
- (3) 「第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画（概要版）」（令和5年3月）
- (4) 用語集

## 1. 地球温暖化について

### (1) 気候変動の影響

地球温暖化問題は、その予想される影響の大きさや深刻さから見て、人類の生存基盤に関わる安全保障の問題と認識されており、最も重要な環境問題の一つとされています。既に世界的にも平均気温の上昇、雪氷の融解、海面水位の上昇が観測されています。

2021 年（令和 3 年）8 月には、IPCC 第 6 次評価報告書第 1 作業部会報告書が公表され、同報告書では、人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がないこと、大気、海洋、雪氷圏及び生物圏において、広範囲かつ急速な変化が現れていること、気候システムの多くの変化（極端な高温や大雨の頻度と強度の増加、強い熱帯低気圧の割合の増加等）は、地球温暖化の進行に直接関係して拡大することが示されました。

個々の気象現象と地球温暖化との関係を明確にすることは容易ではありませんが、今後、地球温暖化の進行に伴い、このような猛暑や豪雨のリスクは更に高まることが予測されています。

### (2) 地球温暖化対策を巡る国際的な動向

2015 年（平成 27 年）11 月から 12 月にかけて、フランス・パリにおいて、COP21 が開催され、京都議定書以来 18 年ぶりの新たな法的拘束力のある国際的な合意文書となるパリ協定が採択されました。

合意に至ったパリ協定は、国際条約として初めて「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて 2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること」や「今世紀後半の温室効果ガスの人為的な排出と吸収の均衡」を掲げたほか、附属書 I 国（いわゆる先進国）と非附属書 I 国（いわゆる途上国）という附属書に基づく固定された二分論を超えた全ての国の参加、5 年ごとに貢献（nationally determined contribution）を提出・更新する仕組み、適応計画プロセスや行動の実施等を規定しており、国際枠組みとして画期的なものと言えます。

2018 年（平成 30 年）に公表された IPCC「1.5℃特別報告書」によると、世界全体の平均気温の上昇を、2℃を十分下回り、1.5℃の水準に抑えるためには、CO<sub>2</sub>排出量を 2050 年（令和 32 年）頃に正味ゼロとすることが必要とされています。この報告書を受け、世界各国で、2050 年（令和 32 年）までのカーボンニュートラルを目標として掲げる動きが広がりました。

### (3) 地球温暖化対策を巡る国内の動向

2020 年（令和 2 年）10 月、我が国は、2050 年（令和 32 年）までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち、2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。翌 2021 年（令和 3 年）4 月、地球温暖化対策推進本部において、2030 年度（令和 12 年度）の温室効果ガスの削減目標を 2013 年度（平成 25 年度）比 46%削減することとし、さらに、50 パーセントの高みに向けて、挑戦を続けていく旨が公表されました。

また、令和 3（2021 年）年 6 月、国・地方脱炭素実現会議において「地域脱炭素ロードマップ」が決定されました。脱炭素化の基盤となる重点施策（屋根置きなど自家消費型の太陽光発電、公共施設など業務ビル等における徹底した省エネと再エネ電気調達と更新や改修時の ZEB 化誘導、ゼロカーボン・ドライブ等）を全国津々浦々で実施する、といったこと等が位置付けられています。

令和 3 年（2021 年）10 月には、地球温暖化対策計画の閣議決定がなされ、5 年ぶりの改定が行われました。改定された地球温暖化対策計画では、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて気候変動対策を着実に推進していくこと、中期目標として、2030 年度（令和 12 年度）において、温室効果ガスを 2013 年度（平成 25 年度）から 46%削減することを目指し、さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていくという新たな削減目標も示され、2030 年度目標の裏付けとなる対策・施策を記載した目標実現への道筋を描いています。

令和 3 年（2021 年）10 月には、政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の削減等のため実行すべき措置について定める計画（政府実行計画）の改定も行われました。温室効果ガス排出削減目標を 2030 年度（令和 12 年度）までに 50%削減（2013 年度（平成 25 年度）比）に見直し、その目標達成に向け、太陽光発電の導入、新築建築物の ZEB 化、電動車の導入、LED 照明の導入、再生可能エネルギー電力調達等について、政府自らが率先して実行する方針が示されました。

なお、地球温暖化対策計画では、都道府県及び市町村が策定及び見直し等を行う地方公共団体実行計画の策定率を 2025 年度（令和 7 年度）までに 95%、2030 年度（令和 12 年度）までに 100%とすることを目指すとしています。

## 2. 基本的事項

### (1) 計画策定の目的

北中城村地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下、「北中城村事務事業編」という。）は、地球温暖化対策の推進に関する法律（以下、「地球温暖化対策推進法」という。）第 21 条第 1 項に基づき、地球温暖化対策計画に即して、北中城村が実施している事務及び事業に関し、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化などの取組を推進し、温室効果ガスの排出量を削減することを目的として策定するものです。

### 地球温暖化対策の推進に関する法律第 21 条（抜粋）

（地方公共団体実行計画等）

**第 21 条** 都道府県及び市町村は、単独で又は共同して、地球温暖化対策計画に即して、当該都道府県及び市町村の事務及び事業に関し、温室効果ガスの排出の量の削減等のための措置に関する計画（以下「地方公共団体実行計画」という。）を策定するものとする。

2 地方公共団体実行計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

- 一 計画期間
- 二 地方公共団体実行計画の目標
- 三 実施しようとする措置の内容
- 四 その他地方公共団体実行計画の実施に関し必要な事項

3～18 （略）

### (2) 対象とする範囲

北中城村事務事業編の対象範囲は、北中城村の全ての事務・事業とします。また、対象施設の一覧を表-1 に示します。

### (3) 対象とする温室効果ガス

北中城村事務事業編が対象とする温室効果ガスは二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素とします。ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン及び六ふっ化硫黄については、活動量の把握が困難であることから対象としないこととします。

### (4) 計画期間

令和 7 年度（2025 年度）から令和 12 年度（2030 年度）の 5 年間を計画期間とします。また、計画の基準年度は平成 27 年度（2015 年度）とします。

### (5) 上位計画及び関連計画との位置づけ

北中城村事務事業編は、地球温暖化対策推進法第 21 条第 1 項に基づく地方公共団体実行計画（事務事業編）として策定します。また、地球温暖化対策計画及び北中城村総合計画に即して策定します。

表-1 対象施設一覧（令和３年度）

| 対象施設等                                                                                            | 施設分類（LAPSS）   | 対象組織      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------|
| 北中城村役場（第一庁舎、第二庁舎、別館）                                                                             | 庁舎            | 総務課       |
| 上下水道庁舎、ポンプ場（島袋配水ポンプ場、大城送水ポンプ場、喜舎場送水ポンプ場、島袋送水ポンプ場）                                                | 庁舎            | 上下水道課     |
| 観光案内所（トラベルマートきたぽ）                                                                                | 観光・レクリエーション施設 | 企画振興課     |
| 商工業研修等施設                                                                                         | 保養施設          | 企画振興課     |
| 植物ごみ資源化ヤード                                                                                       | 廃棄物処理施設       | 住民生活課     |
| 老人デイサービスセンター しおさい、地域活動支援センター（北中城村地域ゆいまーる創造館）                                                     | 福祉施設          | 福祉課       |
| 屋宜原区民広場（沖縄自動車道屋宜原高架下）、安谷屋・石平区スポーツレクリエーション広場（県道 29 号線肝あぐみ橋高架橋下）                                   | スポーツ施設        | 福祉課       |
| 喜舎場保育所                                                                                           | 保育所           | こども未来課    |
| 仲順児童館、島袋児童館、子育て支援センターきたなかぐすく、しまぶく学童クラブ                                                           | 幼児・児童施設       | こども未来課    |
| 北中城村産品アンテナショップ（しおさい市場）                                                                           | 市場・と畜場        | 農林水産課     |
| 喜舎場公園、仲順公園、熱田公園、渡口みどり公園、若松公園、ゆうな公園、あおい公園、ロカイ公園、渡口多目的広場、イームイ公園、島袋中央公園、荻道農村広場、しおさい公苑、屋宜原公園、北中城中央広場 | 公園            | 建設課       |
| 北中城幼稚園                                                                                           | 幼稚園           | 教育総務課     |
| 北中城小学校、島袋小学校                                                                                     | 小学校           | 教育総務課     |
| 北中城中学校                                                                                           | 中学校           | 教育総務課     |
| 学校給食共同調理場                                                                                        | その他教育施設       | 学校給食共同調理場 |
| 中央公民館                                                                                            | 集会施設（社会教育系）   | 生涯学習課     |
| あやかりの杜                                                                                           | 集会施設（市民文化系）   | 生涯学習課     |
| 村民体育館                                                                                            | スポーツ施設        | 生涯学習課     |
| 公用車                                                                                              | —             | —         |

※施設分類は地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム（LAPSS）に設定してある分類です。

### 3. 温室効果ガスの排出状況

#### (1) 温室効果ガス総排出量

北中城村における温室効果ガスの排出の実態を把握するために、令和3年度(2021年度)の1年間を対象に、計画対象施設及び対象組織からの温室効果ガスの排出量を調査しました。

算定にあたっては、「地方公共団体実行計画(事務事業編)策定・実施マニュアル(算定方法編)」(令和6年4月、環境省)に準じ、算定します。

算定方法の考え方は、温室効果ガスを排出する活動区分ごとに、当該活動に係る量(活動量)に排出係数を乗じることによって、各温室効果ガスの排出量を算出します。また、温室効果ガスはガスの種類によって、温室効果の強さが異なっていることから、二酸化炭素を1(基準)として、各温室効果ガスの温室効果の強さを数値化したもの(地球温暖化係数)を乗じて二酸化炭素相当量に換算(二酸化炭素換算)した上で合算します。

令和3年度における計画対象施設及び対象組織の事務・事業における温室効果ガスの排出量は2,160トン(二酸化炭素換算)(以下、単に「トン」と表記する。)となっています。

施設別の排出状況(表-2及び図-2参照)としては、北中城小学校及び島袋小学校の522トンが最も大きくなっており、全体の約24%を占めています。次いで上下水道課の水道施設に係るポンプ場が325トン(約15%)、村役場庁舎(第一庁舎及び第二庁舎)が255トン(約12%)となっています。

活動量別の排出状況(図-1及び表-4参照)は、電気の使用が1,952トン(約90%)、燃料の使用(自動車以外)等が127トン(約6%)、公用車の使用が82トン(約4%)となっています。

本村の温室効果ガスの排出は、電気の使用によるものが大部分を占めています。

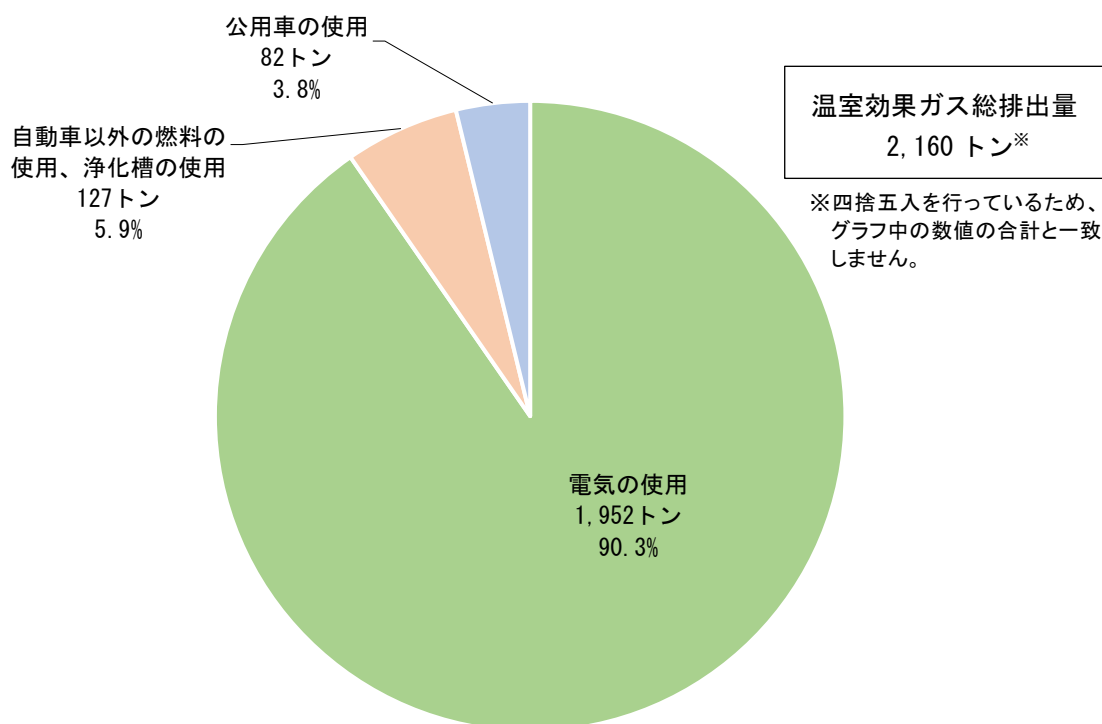


図-1 北中城村における活動量別の温室効果ガス総排出量(CO<sub>2</sub>換算)(令和3年度)

表-2 北中城村における施設別の温室効果ガス総排出量集計表（CO<sub>2</sub>換算）（令和3年度）

| 項目                                      | 二酸化炭素              | メタン<br>(CO <sub>2</sub> 換算) | 一酸化二窒素<br>(CO <sub>2</sub> 換算) | 合計                 |       |
|-----------------------------------------|--------------------|-----------------------------|--------------------------------|--------------------|-------|
|                                         | kg-CO <sub>2</sub> | kg-CO <sub>2</sub>          | kg-CO <sub>2</sub>             | kg-CO <sub>2</sub> | 構成比   |
| 北中城村役場<br>(第一庁舎、第二庁舎)                   | 255,391            | 0.93                        | 0.18                           | 255,392            | 11.8% |
| 北中城村役場（別館）                              | 5,725              | 0.35                        | 0.067                          | 5,725              | 0.3%  |
| 上下水道庁舎                                  | 35,879             | 0                           | 0                              | 35,879             | 1.7%  |
| ポンプ場（上水道）                               | 324,988            | 0                           | 0                              | 324,988            | 15.0% |
| 観光案内所                                   | 4,451              | 0                           | 0                              | 4,451              | 0.2%  |
| 商工業研修等施設                                | 18,107             | 0                           | 0                              | 18,107             | 0.8%  |
| 植物ごみ資源化ヤード                              | 3,312              | 0                           | 0                              | 3,312              | 0.2%  |
| 老人デイサービス しおさい、<br>ゆいまーる創造館              | 55,348             | 44                          | 8.3                            | 55,400             | 2.6%  |
| 屋宜原区民ひろば、安谷屋・石<br>平スポーツレク広場             | 268                | 0                           | 0                              | 268                | 0.0%  |
| 喜舎場保育所                                  | 31,346             | 9.4                         | 5.4                            | 31,361             | 1.5%  |
| 仲順児童館、島袋児童館、子育て<br>支援センター、しまぶく学童<br>クラブ | 23,922             | 0                           | 0                              | 23,922             | 1.1%  |
| しおさい市場                                  | 0                  | 0                           | 0                              | 0                  | 0.0%  |
| 喜舎場公園等                                  | 53,499             | 0                           | 0                              | 53,499             | 2.5%  |
| 北中城幼稚園                                  | 64,672             | 0                           | 0                              | 64,672             | 3.0%  |
| 北中城小学校、島袋小学校                            | 512,720            | 7,137                       | 2,633                          | 522,491            | 24.2% |
| 北中城中学校                                  | 202,716            | 0.15                        | 0.029                          | 202,716            | 9.4%  |
| 学校給食共同調理場                               | 194,122            | 31                          | 5.9                            | 194,159            | 9.0%  |
| 中央公民館                                   | 99,902             | 0.28                        | 0.053                          | 99,902             | 4.6%  |
| あやかりの杜                                  | 145,811            | 0                           | 0                              | 145,811            | 6.7%  |
| 村民体育館                                   | 36,261             | 30                          | 5.7                            | 36,297             | 1.7%  |
| 公用車（表-3 に課別内訳）                          | 79,458             | 160                         | 2,271                          | 81,889             | 3.8%  |
| 合計                                      | 2,147,897          | 7,414                       | 4,930                          | 2,160,240          | 100%  |

表-3 北中城村における公用車の温室効果ガス総排出量（CO<sub>2</sub>換算）（令和3年度）

| 項目        | 二酸化炭素              | メタン<br>(CO <sub>2</sub> 換算) | 一酸化二窒素<br>(CO <sub>2</sub> 換算) | 合計                 |       |
|-----------|--------------------|-----------------------------|--------------------------------|--------------------|-------|
|           | kg-CO <sub>2</sub> | kg-CO <sub>2</sub>          | kg-CO <sub>2</sub>             | kg-CO <sub>2</sub> | 構成比   |
| 総務課       | 4,540              | 6.1                         | 132                            | 4,678              | 5.7%  |
| 企画振興課     | 671                | 0.57                        | 7.1                            | 679                | 0.8%  |
| 議会事務局     | 385                | 0.46                        | 13                             | 399                | 0.5%  |
| 住民生活課     | 3,918              | 4.8                         | 82                             | 4,004              | 4.9%  |
| 税務課       | 157                | 0.20                        | 4.7                            | 162                | 0.2%  |
| 福祉課       | 2,536              | 3.1                         | 71                             | 2,610              | 3.2%  |
| こども未来課    | 3,645              | 4.4                         | 108                            | 3,757              | 4.6%  |
| 健康保険課     | 4,077              | 13.4                        | 158                            | 4,248              | 5.2%  |
| 農林水産課     | 4,680              | 6.1                         | 127                            | 4,813              | 5.9%  |
| 農業委員会     | 443                | 0.53                        | 15                             | 459                | 0.6%  |
| 建設課       | 8,054              | 8.9                         | 198                            | 8,261              | 10.1% |
| 上下水道課     | 7,694              | 12.7                        | 218                            | 7,924              | 9.7%  |
| 教育総務課     | 23,248             | 81.5                        | 926                            | 24,256             | 29.6% |
| 生涯学習課     | 10,852             | 10.0                        | 142                            | 11,004             | 13.4% |
| 学校給食共同調理場 | 4,558              | 7.2                         | 70                             | 4,635              | 5.7%  |
| 合計        | 79,458             | 160                         | 2,271                          | 81,889             | 100%  |

表-4 北中城村における活動量別の温室効果ガス総排出量集計表（CO<sub>2</sub>換算）（令和3年度）

| 項目                 | 二酸化炭素              | メタン<br>(CO <sub>2</sub> 換算) | 一酸化二窒素<br>(CO <sub>2</sub> 換算) | 合計                 |       |
|--------------------|--------------------|-----------------------------|--------------------------------|--------------------|-------|
|                    | kg-CO <sub>2</sub> | kg-CO <sub>2</sub>          | kg-CO <sub>2</sub>             | kg-CO <sub>2</sub> | 構成比   |
| 電気の使用              | 1,951,685          | 0                           | 0                              | 1,951,685          | 90.3% |
| 自動車以外の燃料の使用、浄化槽の使用 | 116,754            | 7,254                       | 2,659                          | 126,666            | 5.9%  |
| 公用車の使用             | 79,458             | 160                         | 2,271                          | 81,889             | 3.8%  |
| 合計                 | 2,147,897          | 7,414                       | 4,930                          | 2,160,240          | 100%  |

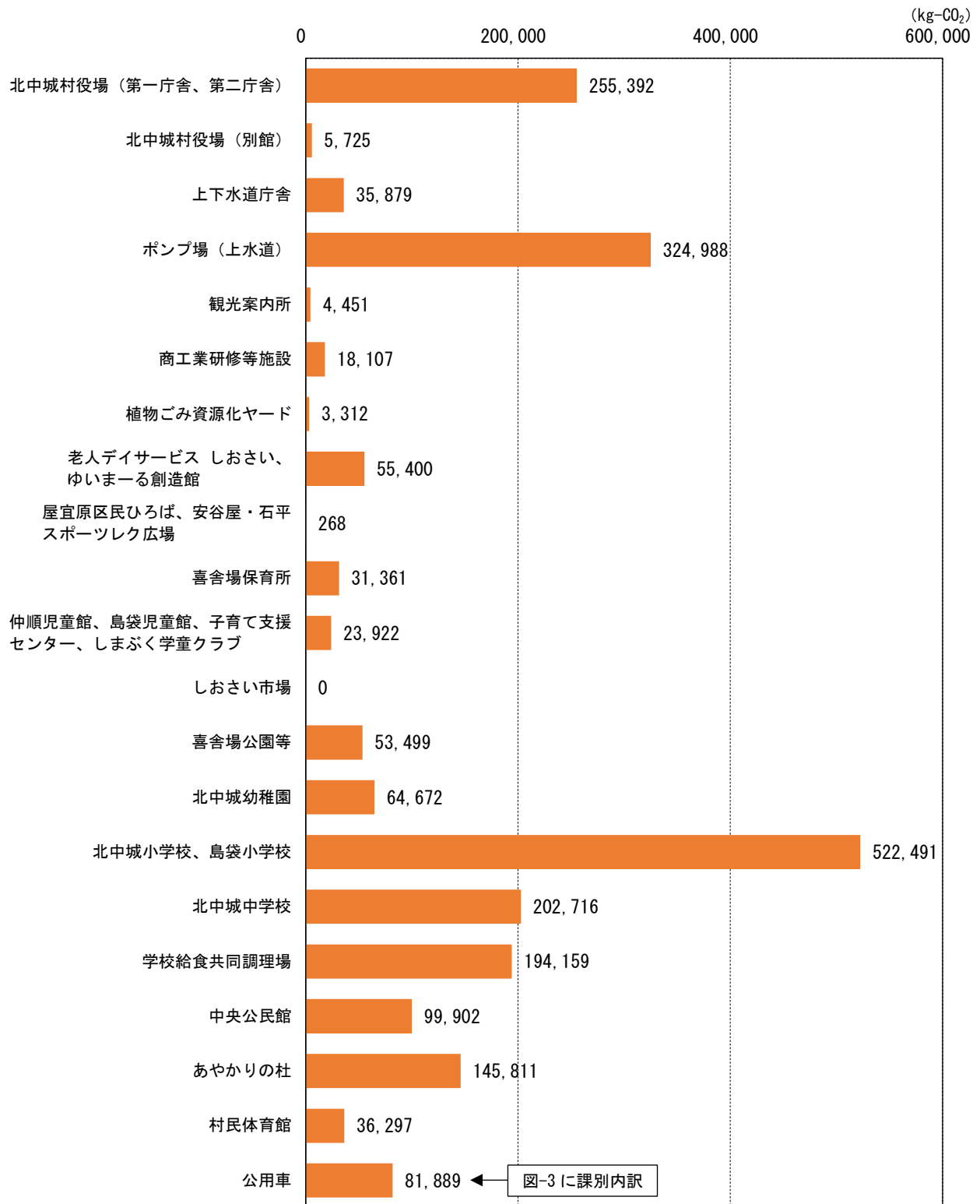


図-2 北中城村における施設別の温室効果ガス総排出量（CO<sub>2</sub>換算）（令和3年度）

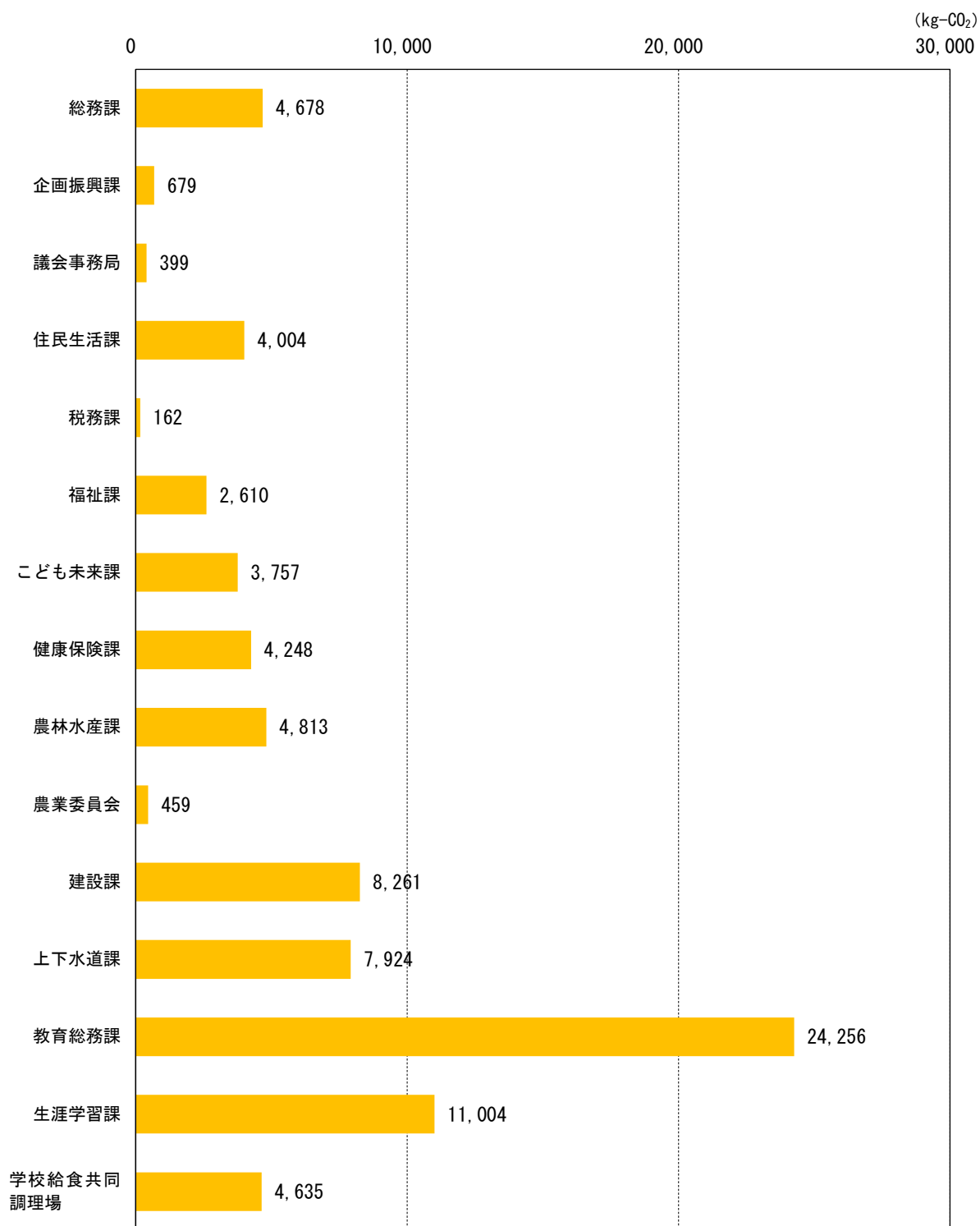


図-3 北中城村における公用車の温室効果ガス総排出量（CO<sub>2</sub>換算）（令和3年度）

## (2) 温室効果ガスの排出削減に向けた課題

北中城村の事務・事業に伴う温室効果ガスの排出削減に向けた課題を施設別に示します。

### ①公共施設・学校

公共施設・学校からの CO<sub>2</sub> 排出量は、前回の調査と今回の調査では対象施設が異なることから単純に比較できませんが、共通する施設の排出量の比較では、横ばい、または、減少しており、全体についても同様の傾向にあるものと想定されます。なお、CO<sub>2</sub> 排出量の減少については、令和 3 年 1 月の役場新庁舎の供用開始や令和 2 年以降の国内における新型コロナウイルスの流行の影響等もあると考えられます。

公共施設及び学校の事務・事業に係る温室効果ガスの削減については、利用者数の増減にかかわらず、電気や燃料の利用に伴う CO<sub>2</sub> 排出量を削減する取組が必要です。ただし、その際には安全面が損なわれることや利便性が低下すること等について、慎重に配慮する必要があります。

### ②公用車

公用車からの CO<sub>2</sub> 排出量は、前回の調査では一部の車両のみが対象となっていたことから単純に比較できませんが、特定の課を対象に比較すると、おおむね減少していることが想定されます。

公用車に係る温室効果ガスの削減については、公用車の更新において、電動車 (EV・FCV・PHEV・HV) へ代替することで CO<sub>2</sub> 排出量を減少させることができます。また、利用者へのエコドライブの徹底や公用車の利用頻度を下げるような仕事の進め方 (リモート会議の活用等) の工夫なども有効です。

## 4. 温室効果ガスの排出削減目標

### (1) 目標設定の考え方

国の地球温暖化対策計画や沖縄県の地球温暖化対策実行計画等を踏まえて、北中城村の事務・事業に伴う温室効果ガスの排出削減目標を設定します。

### (2) 温室効果ガスの削減目標

北中城村における温室効果ガスの削減目標は、目標年度（令和 12 年度（2030 年度））に、基準年度（2015 年度）比で 26%削減することを目標とします。

この削減目標は、「第 2 次沖縄県地球温暖化対策実行計画（改定版）」（令和 5 年 3 月）（以下、「沖縄県第 2 次実行計画」という。）に準じて設定した目標となっています。

沖縄県は、地理的・地形的・電力需要規模の制約から火力発電所に頼らざるを得ない電源構成となっていること、吸収源としての管理森林も限られているなど、他都道府県とは異なる特殊事情を有しています。このような状況を踏まえ、本村の目標としては、沖縄県第 2 次実行計画に掲げられる削減目標のうち、意欲的目標である「2013 年度（平成 25 年度）比 26%削減」に準じ、基準年度は異なるものの、同目標値を設定するものとししました。

なお、国の地球温暖化対策計画では、2050 年（令和 32 年）までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、2050 年ネット・ゼロの実現を目指すものとしており、当該目標と整合的な目標として、2030 年度（令和 12 年度）に 2013 年度から 46%削減することを目指し、さらに 50%の高みに向けて挑戦を続けていくものとしています。

表-5 温室効果ガスの削減目標

| 項目             | 基準年度<br>(2015 年度)            | 令和 3 年度<br>(2021 年度) 実績    | 目標年度<br>(令和 12 年度<br>(2030 年度)) |
|----------------|------------------------------|----------------------------|---------------------------------|
| 温室効果ガスの<br>排出量 | (2,410 t-CO <sub>2</sub> ※1) | 2,160 t-CO <sub>2</sub> ※2 | 1,783 t-CO <sub>2</sub>         |
| 削減率            | —                            | (約 10%※1)                  | 26%                             |

※1 基準年度の温室効果ガスの排出量は、当時の調査結果の排出量と異なる推定値を示しています。これは、当時の調査が対象施設等を主要施設に限定し、全施設を対象としていなかったことによります。  
なお、推定にあたっては 2015 年度比の 2021 年度における削減率を電気、燃料等の使用が 10%削減、公用車による燃料の使用を 20%削減と見込み、推定しています。

※2 令和 3 年度の温室効果ガス排出量は、コロナ禍の影響を受け例年よりも少なくなっていることが想定されます。

## 5. 目標達成に向けた取組

### (1) 取組の基本方針

北中城村における温室効果ガスの排出の抑制等の適切かつ有効な実施を図るため、北中城村役場各庁舎及び管理施設における設備の選択及び使用方法、職員等への周知等に関し、温室効果ガスの排出の抑制等の適切かつ有効な実施を図るため、次のように取り組むよう努めるものとします。

- ①体制の整備、重要性についての周知徹底
- ②設備、温室効果ガス排出量、運転等の状況の適切な把握
- ③情報収集、整理
- ④設備の選択及び使用方法の将来的見通し、計画の構築
- ⑤④の実施状況及びその効果の把握
- ⑥効果的な取組の継続的实施
- ⑦住民の自主的取組の促進

## (2) 具体的な取組内容

政府実行計画では表-6 に示された取組が示されています。北中城村においては、「太陽光発電の導入」、「電動車の導入」、「LED 照明の導入」を主要な取組として位置付けます。

また、表-7～表-18 に主な取組例を示します。これらの取組を積極的に推進することにより、温室効果ガスの削減を推進していくものとします。

なお、表-9～表-18 については、「事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制等及び日常生活における温室効果ガスの排出抑制への寄与に係る事業者が講ずべき措置に関して、その適切かつ有効な実施を図るために必要な指針の全部を改正する件」(令和 5 年 3 月内閣府、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省告示第 1 号) に示される事務・事業等に使用される設備等の選択及び使用方法の抜粋となっています。

表-6 政府実行計画に新たに盛り込まれた主な措置の内容とその目標

| 措置                         | 目標                                                                                                                                                          |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 太陽光発電の最大限の導入               | 2030 年度には設置可能な建築物（敷地を含む。）の約 50%以上に太陽光発電設備が設置され、2040 年度には 100%設置されることを目指す。                                                                                   |
| 建築物における省エネルギー対策の徹底         | 今後予定する新築事業については原則 ZEB Oriented 相当以上とし、2030 年度までに新築建築物の平均で ZEB Ready 相当となることを目指す。<br>また、2030 年度以降は、更に高い省エネルギー性能を目指す。                                         |
| 電動車の導入                     | 代替可能な電動車（EV、FCV、PHEV、HV）がない場合等を除き、新規導入・更新 については 2022 年度以降全て電動車とし、ストック（使用する公用車全体）でも 2030 年度までに全て電動車とする。<br>現時点では代替可能な電動車がない場合であっても、対象期間内に代替可能となった場合には電動車とする。 |
| LED 照明の導入                  | 既存設備を含めた政府全体の LED 照明の導入割合を 2030 年度までに 100%とする。                                                                                                              |
| 再生可能エネルギー等の脱炭素電源由来の電力調達の推進 | 2030 年度までに各府省庁で調達する電力の 60%以上を再生可能エネルギー電力とする。<br>2030 年度以降について、再生可能エネルギー電力を 60%以上調達した上で、2040 年度においては、調達する電力の 80%以上を脱炭素電源由来の電力とする。                            |
| 廃棄物の 3R+Renewable          | プラスチックごみをはじめ庁舎等から排出される廃棄物の 3R+Renewable を徹底し、サーキュラーエコノミーへの移行を総合的に推進する。                                                                                      |

資料：「政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の削減等のため実行すべき措置について定める計画」  
(令和 7 年 2 月 18 日閣議決定) を編集

表-7 各分野共通の取組の例

| 項目                                |                   | 取組の例                                                          |
|-----------------------------------|-------------------|---------------------------------------------------------------|
| 村におけるマネジメントの実践                    | 施設設備に係る情報の整備      | ①設備管理台帳の整理<br>②施設設備の実態把握<br>③地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム（LAPSS）の導入 |
|                                   | 意識啓発などの取組         | 研修実施、資料・放送・ポスター配布、ICT 活用（e-ラーニング等）等                           |
|                                   | グリーン購入・環境配慮契約等の推進 | ①グリーン購入の推進<br>②環境配慮契約の推進<br>③電気の供給を受ける契約                      |
|                                   | 環境マネジメントシステムの導入   | ISO14001、エコアクション 21、LAS-E 等                                   |
|                                   | 職員のワークライフバランスの確保  | テレワークの推進、ウェブ会議システムの活用等                                        |
| 官民連携による施設整備・管理運営方式における地球温暖化対策の織込み |                   | PFI 事業、指定管理者制度（①民間事業者等への要請、②インセンティブの付与、③成果の管理）                |
| その他                               |                   | ①地域新電力との連携<br>②地域の防災・減災<br>③ESCO 事業                           |

資料：「地方公共団体実行計画（事務事業編）策定・実施マニュアル（本編）」（令和 6 年 4 月、環境省）を編集

表-8 意識啓発に係る取組のイメージ

| 項目          | 手法                  | 概要                                                                                                                                                                              |
|-------------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 職員研修の実施     | 集合研修の実施（オンライン研修を含む） | 職員研修の実施は、職員の役職や年間の業務の流れなどを踏まえ、適切な時期に実施することが重要である。例えば、新職員を集めた一般研修などは、速やかに実施することが効果的である。なお、環境省が運営する環境調査研修所では、地方公共団体の担当職員等の能力の開発、資質の向上を図るため各種の環境保全に関する研修を実施しており、職員研修に活用することが考えられる。 |
|             | e-ラーニングを活用した自主学習の推進 | e-ラーニングを導入し、各職員が業務の空いた時間を使って、自主的に学習できるような環境を実現する。                                                                                                                               |
|             | 内部監査員の養成            | 職員研修と併せて内部監査員養成のプログラムを実施することで、より効率的に職員の意識を高めることが可能である。                                                                                                                          |
|             | 体験型研修等の実施           | 通常の集合座学型の研修とは異なる手法の研修（例えば、庁内におけるごみ分別のルールを実演しながら実施する方式や、実際の職場の状況を想定したロールプレイング形式で実施する方式など）を実施することにより、職員の意識向上を図る上で効果的と考えられる。                                                       |
| 職員への普及啓発の実施 | 庁内 LAN を活用した情報提供    | 職員意識啓発に係る定期的なお知らせ等、職員全体で共有することが効果的であると考えられる場合、庁内 LAN による情報共有を推進する。                                                                                                              |
|             | 計画書、概要版の配布          | 計画書等を職員に配布することで、確実に情報を伝達する。全職員へ配布する場合は、計画書の内容をコンパクトに取りまとめた概要版を作成することも有効である。                                                                                                     |
|             | 職員だよりの発行            | 全職員を対象に定期的に発行している刊行物（職員だよりのなど）がある場合は、そこで取り上げることも有効である。また、意識啓発の呼びかけだけでなく、具体的な措置事例等も、この刊行物を利用して紹介することが可能である。                                                                      |
|             | 館内放送の活用             | 館内放送を用いて随時研修等への参加を促すことが可能である。                                                                                                                                                   |
|             | ポスターの活用             | ポスターを作成して、職員の目にとまる場所に提示することは、日常的な環境配慮の取組を推進する上で有効である。                                                                                                                           |

資料：「地方公共団体実行計画（事務事業編）策定・実施マニュアル（本編）」（令和6年4月、環境省）を編集

表-9 熱利用設備の選択、使用方法における取組の例

| 設備の選択                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 使用方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>①効率的な熱回収に資する設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蓄熱式またはヒートパイプ式等による高効率熱交換器の導入</li> <li>顕熱回収装置等の熱回収設備の導入</li> </ul> <p><b>②熱伝達率の向上等に資する設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>炉内攪拌装置、噴流加熱装置、高効率ラジエントチューブバーナー等熱伝達率の向上に資する装置の導入</li> <li>高効率熱交換器の導入</li> <li>バーナーや燃焼排ガス等を用いて直接加熱を行う設備の導入</li> </ul> <p><b>③加熱設備の断熱性向上等の熱損失の防止に資する設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>断熱材の厚さの増加、熱伝導率の低い断熱材の利用、断熱の二重化等による熱利用設備の断熱性の向上</li> <li>開口部の縮小または密閉、二重扉の取付け、内部からの空気流等の遮断等による放散及び空気の流入による熱の損失の防止</li> <li>蒸気ドレン等の熱回収装置の導入</li> <li>高性能スチームトラップ、高性能ドレンサイホン、クローズド式ドレン回収システム等の蒸気ロス軽減設備の導入</li> <li>省エネルギー型乾燥装置の導入</li> <li>カウンターカートキルンの導入</li> <li>蓄熱式冷温水供給装置等の蓄熱装置の導入</li> <li>高性能蓄熱材料による熱搬送、利用システムの導入</li> <li>真空蒸気方式低温加熱システムの導入</li> </ul> <p><b>④ヒートポンプ式熱源装置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チリングユニット（またはチラー）、ターボ冷凍機等の高効率な熱源装置の導入</li> <li>高効率ヒートポンプの導入</li> <li>ノンフロン、低GWP（地球温暖化係数）型の冷媒を使用したヒートポンプ式熱源装置の導入</li> <li>熱回収型ヒートポンプ、地中熱利用等の熱を有効利用する熱源装置の導入</li> </ul> <p><b>⑤その他の熱利用設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気再圧縮加熱装置の導入</li> <li>熱回収型密閉式溶剤回収装置の導入</li> <li>冷凍機内蔵冷却塔の導入</li> <li>高性能触媒利用装置の導入</li> <li>高性能膜分離装置、特殊廃液濃縮処理システム等の高効率廃液・廃ガス処理設備の導入</li> <li>高効率脱臭装置の導入</li> <li>超臨界流体利用装置の導入</li> <li>バイオ技術利用装置の導入</li> <li>排出係数が小さい燃料等を使用した設備の導入</li> </ul> | <p><b>①効率的な熱回収に資する設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>排ガス温度の低下、廃熱回収率の向上</li> </ul> <p><b>②熱伝達率の向上等に資する設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>炉内伝熱シミュレーションによる最適化</li> </ul> <p><b>③加熱設備の断熱性向上等の熱損失の防止に資する設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不要時の蒸気供給バルブの閉止等による蒸気の有効利用</li> </ul> <p><b>④その他の熱利用設備の使用方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボイラー給水の水質の適切な管理</li> <li>複数の加熱設備を使用する場合の設備全体としての熱効率の向上</li> <li>設備の定期的な保守及び点検</li> </ul> |

表-10 空気調和設備・換気設備の選択、使用方法における取組の例

| 設備の選択                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 使用方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>①空調熱源設備、システム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率チリングユニット、ターボ冷凍機等の高効率なヒートポンプ空調システムの導入</li> <li>・熱回収型ヒートポンプ方式熱源装置、排熱等利用型吸収冷温水機等の各種熱有効利用空調システムの導入</li> <li>・低GWP冷媒を利用した熱源装置の導入</li> <li>・高効率蓄熱設備を使った蓄熱式空調システムの導入</li> <li>・放射を利用した空気調和設備の導入</li> <li>・変風量、変流量システムの導入</li> <li>・デシカント空気調和システムの導入</li> <li>・大温度差、変流量制御熱搬送システムの導入</li> <li>・空気調和用搬送エネルギー効率化システムの導入</li> <li>・外気を利用した空気調和システムの導入</li> <li>・水加湿による調湿方式の導入</li> <li>・二流体加湿器の導入</li> <li>・全熱交換器の導入</li> <li>・置換換気空調システムの導入</li> </ul> <p><b>②空気調和、熱源設備の制御装置その他の設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空気調和設備の最適起動停止制御の導入</li> <li>・クリーンルーム局所クリーン化技術の導入</li> <li>・ブースターポンプシステム、水-水熱交換器等の空気調和用搬送動力低減設備の導入</li> <li>・ペリメータレス空気調和方式の導入</li> <li>・エアコンディショナー室外機への水噴霧装置の導入</li> <li>・熱源台数制御システムの導入</li> <li>・空調デマンド制御の導入</li> <li>・タスク・アンビエント制御の導入</li> <li>・排出係数が小さい燃料等を使用した設備の導入</li> </ul> <p><b>③換気設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可変風量換気装置、局所排出システム等の高効率換気設備の導入</li> <li>・濃度測定、温度センサー等による換気制御システムの導入</li> <li>・余剰排気の最適利用システムの導入</li> </ul> | <p><b>①空調熱源設備、システム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予冷予熱時の取入停止、ナイトパーシ制御等の外気導入の適正な運用の実施</li> <li>・冷温水送水設定温度及び出口温度、冷却水設定温度の適正化</li> <li>・圧力の適正化等による水、空気搬送ロスの低減</li> <li>・熱源台数制御システムの運転発停順位の適正化</li> <li>・冷温水ポンプの冷温水流量の適正化</li> <li>・蓄熱システムの運転スケジュールの適正化</li> <li>・密閉式冷却塔熱交換器のスケール除去</li> <li>・冷却塔充てん材の清掃</li> <li>・熱源機のブロー量の適正化</li> <li>・冷却水の水質の適正な管理</li> <li>・熱源機の停止時間の電源遮断</li> <li>・複数の空調設備で構成されている場合等の総合的なエネルギー消費効率の向上</li> </ul> <p><b>②空気調和、熱源設備の制御装置その他の設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設定温度、湿度の適正化</li> <li>・運転時のドアの開け放しの防止</li> <li>・空調機設備、熱源機の起動時刻の適正化</li> <li>・空調ゾーニングの細分化等による使用されていない区画、部屋の空調停止</li> <li>・冷暖房の混合使用によるエネルギー損失の防止</li> <li>・除湿、再熱制御システムの再加熱運転の停止</li> <li>・温湿度センサー、コイル、フィルター等の清掃</li> <li>・機器等からの冷媒等の漏えい防止のための点検、整備</li> <li>・自動制御装置の定期的な保守及び点検</li> <li>・排出係数が小さい燃料等への転換</li> </ul> <p><b>③換気設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・換気運転時間の短縮等の換気運転の適正化</li> <li>・換気設備の定期的な保守及び点検</li> </ul> |

表-11 給湯設備及び冷凍冷蔵設備の選択、使用方法における取組の例

| 設備の選択                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 使用方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>①給湯設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノンフロン、低GWP型の冷媒を使用した高効率ヒートポンプ給湯機の導入</li> <li>・潜熱回収型給湯器その他の高効率給湯設備、システムの導入</li> <li>・スケジュール給湯制御システムの導入</li> <li>・節水型水栓の導入</li> <li>・配管部等の断熱強化</li> <li>・循環給湯方式から個別給湯方式への変更</li> <li>・排出係数が小さい燃料等を使用した設備の導入</li> </ul> <p><b>②冷凍冷蔵設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノンフロン、低GWP型の冷媒を使用した省エネルギー型自動販売機の導入</li> <li>・高効率冷蔵庫・冷凍庫の導入</li> <li>・冷凍機内蔵型ショーケースの導入</li> <li>・高効率コンデンシングユニットの導入</li> <li>・高効率冷凍冷蔵ユニットの導入</li> <li>・ノンフロン、低GWP型の冷媒を使用した冷凍機の導入</li> <li>・ショーケースの保温装置の導入</li> <li>・空調、冷蔵、冷凍用熱源一体型システムの導入</li> <li>・高効率制御冷蔵庫の導入</li> </ul> | <p><b>①給湯設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱源設備における熱源台数制御システムの運転発停順位の適正化</li> <li>・熱源設備における冷却水設定温度の適正化</li> <li>・給排水ポンプの流量、圧力の適正化</li> <li>・複数の熱源機、ポンプで構成されている場合等の総合的なエネルギー消費効率の向上</li> <li>・給湯温度、循環水量の適正化</li> <li>・冬季以外の給湯供給期間の短縮</li> <li>・温湿度センサー、コイル、フィルター等の清掃</li> <li>・設備の定期的な保守及び点検</li> <li>・排出係数が小さい燃料等への転換</li> </ul> <p><b>②冷凍冷蔵設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配管等からの冷媒等の漏えい防止のための点検、整備</li> <li>・業務用冷凍空調機器の使用時におけるフロン類の漏えい防止</li> <li>・利用の少ない時間帯における自動販売機の消灯</li> </ul> |

表-12 電気使用設備の選択、使用方法における取組の例

| 設備の選択                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 使用方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>①受変電、配電設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率変圧器の導入</li> <li>・負荷電圧安定化供給装置の導入</li> <li>・変圧器の台数制御システムの導入</li> <li>・変圧器設備容量の適正化</li> <li>・400 ボルト級配線設備の導入</li> <li>・自然由来ガス絶縁媒体を使用したガス絶縁開閉装置、高電圧ガス遮断器等の導入</li> <li>・高効率無停電電源装置の導入</li> <li>・電力貯蔵用電池設備の導入</li> </ul> <p><b>②力率改善のための設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進相コンデンサ、自動力率改善装置等の力率改善のための設備の導入</li> </ul> <p><b>③高効率モータ等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率誘導モータ、永久磁石同期モータ等を用いたエネルギー消費効率の高い電動機、電動力応用設備の導入</li> <li>・熱回収式ねじ容積形圧縮機等の高効率圧縮機の導入</li> </ul> <p><b>④回転数制御装置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバーター制御装置、機械式無段変速装置等の回転数制御装置の導入</li> </ul> <p><b>⑤計測管理装置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動計測装置の導入</li> <li>・デマンドコントロール装置等の自動制御装置の導入</li> </ul> <p><b>⑥電気加熱設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高性能アーク炉、高性能抵抗炉等のエネルギー消費効率の高い電気加熱設備の導入</li> </ul> <p><b>⑦その他の電気使用設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高性能電気分解炉、メッキ炉の導入</li> <li>・アルミドロス有価物回収システムの導入</li> <li>・高性能油圧ユニットの導入</li> <li>・高効率射出成形機の導入</li> <li>・ベルト駆動機器への省エネルギー型ベルトの導入</li> </ul> | <p><b>①受変電、配電設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変圧が不要な時期、時間帯における変圧器の停止</li> <li>・受変電設備の配置の適正化、配電方式の変更による配電線路の短縮、配電電圧の適正化等による配電損失の低減</li> <li>・三相電源に単相負荷を接続させる場合の電圧の不平衡の防止</li> <li>・電気使用設備の稼働調整を通じた電気使用の平準化による最大電流の低減</li> <li>・受変電設備、配電設備の電圧、電流等の適正な管理</li> </ul> <p><b>②力率改善のための設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンデンサのこまめな投入及び遮断</li> </ul> <p><b>③高効率モータ等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電動力応用設備の電動機の空転の防止及び不要時の停止</li> </ul> <p><b>④回転数制御装置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流体機械の使用端圧力及び吐出量の見直し、負荷に応じた運転台数及び回転数の適正化による電動機の負荷の低減</li> <li>・複数の電動機を使用する際の電動機全体の効率の向上</li> </ul> <p><b>⑤電気加熱設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気加熱設備における被加熱物の装填方法の改善、無負荷稼働による電気の損失の低減</li> <li>・断熱及び廃熱回収利用の適正化による熱効率の向上</li> </ul> <p><b>⑥その他の電気使用設備の使用方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気使用設備の電圧、電流等の適切な管理による電気の損失の低減</li> <li>・設備の定期的な保守及び点検</li> </ul> |

表-13 照明設備、昇降機設備の選択、使用方法における取組の例

| 設備の選択                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 使用方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>①照明設備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LED照明器具の導入</li> <li>・窓際照明の回路分離の導入</li> <li>・自然採光を活用した設備の導入</li> <li>・自動点滅装置、照明制御システム等の制御装置の導入</li> <li>・タスク・アンビエント照明の導入</li> </ul> <b>②昇降機</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベータへの群管理運転システムの導入</li> <li>・エレベータへの回生電力システム等の高効率装置の導入</li> <li>・エスカレーターへの自動運転装置等の導入</li> </ul> <b>③事務用機器等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギー型電子計算機、磁気ディスク装置、複写機その他の事務用機器等の導入</li> </ul> | <b>①照明設備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照度を比較的必要としない場所等の照明の間引き点灯</li> <li>・照明を利用していない場所及び時間帯におけるこまめな消灯</li> </ul> <b>②昇降機</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台数制御の実施</li> <li>・利用の少ない時間帯における昇降機の一部停止</li> </ul> <b>③事務用機器</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用しない時間帯における事務用機器等の電源の遮断</li> <li>・低電力モードの設定</li> </ul> <b>④その他の措置</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の定期的な保守及び点検</li> </ul> |

表-14 建築物設備の選択における取組の例

| 設備の選択                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>①高断熱ガラス、高性能断熱素材等の断熱強化設備の導入</b><br><b>②選択透過フィルム、ブラインド、熱線反射ガラス等による日射遮蔽</b><br><b>③屋上緑化、壁面緑化の導入</b><br><b>④空調ゾーニングの細分化及び建物、空調エリアの気密化</b> |

表-15 エネルギー管理システム等設備の選択、使用方法における取組の例

| 設備の選択                                                                                         | 使用方法                                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>①ビルエネルギー管理システム（BEMS）の導入</b><br><b>②主要設備、設備群等の統合的な省エネルギー制御の実施</b><br><b>③ネットワーク対応型設備の導入</b> | <b>①機器や設備の保守状況、劣化状況等の把握</b><br><b>②シミュレーション技術による開発の導入</b><br><b>③業務、事業の効率改善に向けたデジタル化の推進</b> |

表-16 公用車等の選択における取組の例

| 設備の選択                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①電動車（電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車）や天然ガス車等の次世代自動車や低燃費車等の温室効果ガスの排出のより少ない自動車の導入</p> <p>②電動車の充電設備、充放電設備の導入</p> |

表-17 再生可能エネルギー等設備の選択、使用方法における取組の例

| 設備の選択                                                                                                                                                                                                                                                                     | 使用方法                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①再生可能エネルギーの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電システム、太陽熱利用システムの導入</li> <li>・バイオマス発電システムの導入</li> <li>・温度差エネルギー利用システムの導入</li> </ul> <p>②その他の再生可能エネルギー等活用設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①に掲げるもののほか、再生可能エネルギー、未利用エネルギーを活用した設備の導入</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部から調達した再生可能エネルギーを活用した電力、熱の利用</li> </ul> |

表-18 上水道設備の選択、使用方法における取組の例

| 設備の選択                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 使用方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①取水、導水工程における設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ設備における台数制御システム、可動羽根制御システム、インバーター等を利用した回転速度制御システム等の導入による運転制御方式の改善、羽根車改造等によるポンプ容量の適正化、高効率ポンプ、エネルギー消費効率の高いモータの導入</li> </ul> <p>②送水、配水工程における設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送水、配水施設における台数制御システム、可動羽根制御システム、インバーター等を利用した回転速度制御システム等の導入によるポンプ運転制御方式の改善、羽根車改造等による適正規模の設備容量のポンプの導入、高効率ポンプ、エネルギー消費効率の高いモータの導入、ブロック配水システムの導入</li> </ul> | <p>①取水、導水工程における設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ設備<br/>ポンプ吸込圧力の有効利用、流量の平準化に伴う管路抵抗の軽減による運転の効率化</li> <li>・除塵機<br/>運転時間、運転間隔の調整による運転の効率化、上下流の水位差による運転制御</li> </ul> <p>②送水、配水工程における設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送水、配水施設における末端圧制御、送水系統の流量制御等によるポンプ制御の適正化、漏水防止対策の推進、送水、配水管路の分離による圧力管理の適正化、大・小容量ポンプの組合せによる幅広い需要量への対応、適正な配水池容量の確保による定量送水</li> </ul> |

## 6. 計画の進捗管理体制と進捗状況の公表

### (1) 推進体制

地球温暖化対策を推進するために、村長を委員長とする「地球温暖化対策等委員会」（以下、「委員会」という。）を設けます。また、各施設に推進責任者を配置し、取組を着実に推進します。

委員会は地球温暖化対策の推進状況の報告を受け、取組方針の指示を行います。また、計画の改定・見直しに関する協議・決定を行います。

委員会事務局は、住民生活課長を事務局長とし、住民生活課職員で構成します。事務局は、委員会の運営全般を行います。また、各施設の温暖化対策の進捗状況を把握するとともに、委員会に報告します。

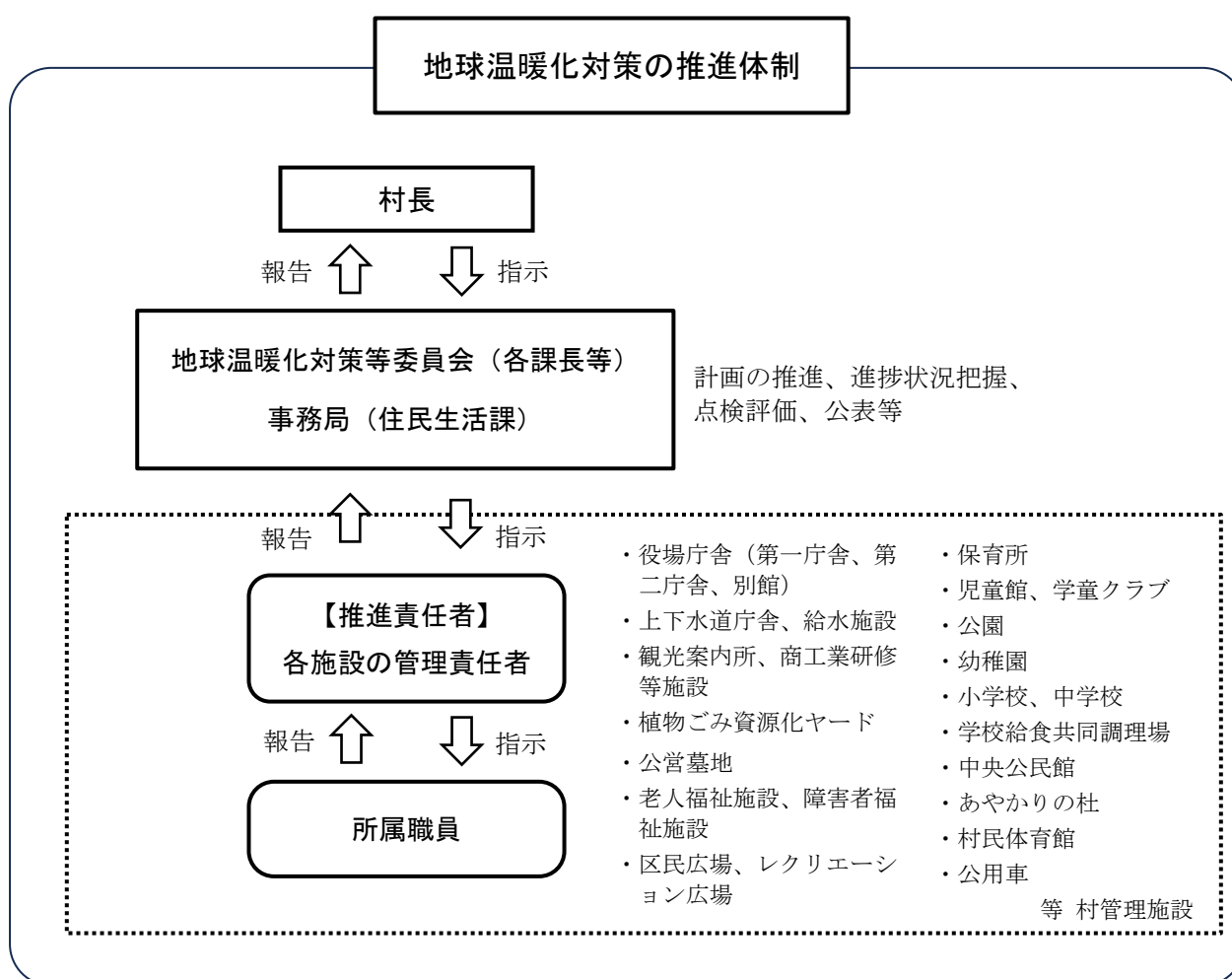


図-4 推進体制図

## (2) 点検・評価・見直し体制

北中城村事務事業編は、Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（点検・評価）→ Action（見直し）の4段階を繰り返すことによって進行管理を行います。また、毎年を取組に対するPDCAを繰り返すとともに、北中城村事務事業編の見直しに向けたPDCAを推進します。

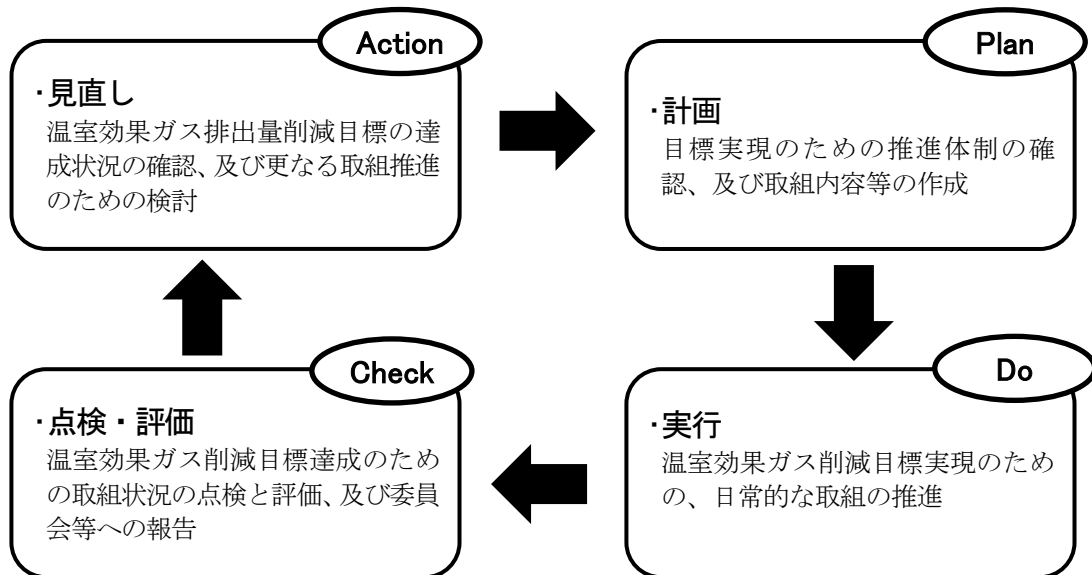


図-5 進行管理の仕組み

### ①毎年のPDCA

北中城村事務事業編の進捗状況は、推進責任者が事務局に対して定期的に報告を行います。事務局はその結果を整理して委員会に報告します。委員会は毎年1回進捗状況の点検・評価を行い、次年度の取組の方針を決定します。

### ②見直し予定時期までの期間内におけるPDCA

委員会は毎年1回進捗状況を確認・評価し、見直し予定時期（令和11年度（2029年度））に改定要否の検討を行い、必要がある場合には、令和12年度に北中城村事務事業編の改定を行います。

## (3) 進捗状況の公表

北中城村事務事業編の進捗状況は、村の広報紙やホームページ等で毎年公表します。

## ○添付資料

- (1) 温室効果ガス排出に係る活動量集計表
- (2) 「地球温暖化対策計画の概要」（令和 7 年 2 月）
- (3) 「第 2 次沖縄県地球温暖化対策実行計画（概要版）」（令和 5 年 3 月）
- (4) 用語集

(1) 温室効果ガス排出に係る活動量集計表

# 北中城村の事務事業における活動量集計表（令和３年度）

| 項目                              | 電気の使用                    |       | ガソリンの使用<br>(自動車除く) |      | 灯油の使用 |      | A 重油の使用 |      | LP ガスの使用       |        |       | 浄化槽の使用 |      |
|---------------------------------|--------------------------|-------|--------------------|------|-------|------|---------|------|----------------|--------|-------|--------|------|
|                                 | kWh                      | 構成比   | リットル               | 構成比  | リットル  | 構成比  | リットル    | 構成比  | m <sup>3</sup> | kg     | 構成比   | 人      | 構成比  |
| 北中城村役場（第一庁舎、第二庁舎）               | 345,939                  | 13.1% | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 66             | 145    | 1.4%  | 0      | 0.0% |
| 北中城村役場（別館）                      | 7,542                    | 0.3%  | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 25             | 55     | 0.5%  | 0      | 0.0% |
| 上下水道庁舎                          | 48,682                   | 1.8%  | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 0              | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0% |
| ポンプ場（上水道）                       | 440,960                  | 16.7% | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 0              | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0% |
| 観光案内所                           | 6,040                    | 0.2%  | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 0              | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0% |
| 商工業研修等施設                        | 24,569                   | 0.9%  | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 0              | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0% |
| 植物ごみ資源化ヤード                      | 4,494                    | 0.2%  | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 0              | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0% |
| 老人デイサービス しおさい、ゆいまーる創造館          | 47,125                   | 1.8%  | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 3,149          | 6,875  | 40.9% | 0      | 0.0% |
| 屋宜原区民ひろば、安谷屋・石平スポーツレク広場         | 364                      | 0.0%  | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 0              | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0% |
| 喜舎場保育所                          | 39,262                   | 1.5%  | 0                  | 0.0% | 968   | 100% | 0       | 0.0% | 0              | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0% |
| 仲順児童館、島袋児童館、子育て支援センター、しまぶく学童クラブ | 32,458                   | 1.2%  | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 0              | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0% |
| しおさい市場                          | 0                        | 0.0%  | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 0              | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0% |
| 喜舎場公園等                          | 72,590                   | 2.7%  | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 0              | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0% |
| 北中城幼稚園                          | 87,750                   | 3.3%  | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 0              | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0% |
| 北中城小学校、島袋小学校                    | 695,161                  | 26.3% | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 59             | 129    | 0.8%  | 432    | 100% |
| 北中城中学校                          | 274,959                  | 10.4% | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 11             | 24     | 0.1%  | 0      | 0.0% |
| 学校給食共同調理場                       | 157,231                  | 5.9%  | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 23,500  | 100% | 2,225          | 4,857  | 28.9% | 0      | 0.0% |
| 中央公民館                           | 135,374                  | 5.1%  | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 20             | 44     | 0.3%  | 0      | 0.0% |
| あやかりの杜                          | 197,461                  | 7.5%  | 121                | 100% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 0              | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0% |
| 村民体育館                           | 30,187                   | 1.1%  | 0                  | 0.0% | 0     | 0.0% | 0       | 0.0% | 2,140          | 4,673  | 27.8% | 0      | 0.0% |
| 公用車                             | ※公用車の使用に係る活動量は表-3 に示します。 |       |                    |      |       |      |         |      |                |        |       |        |      |
| 合計                              | 2,648,148                | 100%  | 121                | 100% | 968   | 100% | 23,500  | 100% | 7,695          | 16,801 | 100%  | 437    | 100% |

北中城村における公用車に係る活動量集計表（令和３年度）

| 項目        | ガソリン   |       | 軽油     |       | 走行距離    |       |
|-----------|--------|-------|--------|-------|---------|-------|
|           | リットル   | 構成比   | リットル   | 構成比   | km      | 構成比   |
| 総務課       | 1,955  | 11.4% | 0      | 0.0%  | 19,554  | 6.3%  |
| 企画振興課     | 17     | 0.1%  | 244    | 1.6%  | 2,614   | 0.8%  |
| 議会事務局     | 166    | 1.0%  | 0      | 0.0%  | 1,660   | 0.5%  |
| 住民生活課     | 594    | 3.5%  | 982    | 6.4%  | 15,760  | 5.1%  |
| 税務課       | 68     | 0.4%  | 0      | 0.0%  | 679     | 0.2%  |
| 福祉課       | 1,092  | 6.4%  | 0      | 0.0%  | 10,928  | 3.5%  |
| こども未来課    | 1,570  | 9.2%  | 0      | 0.0%  | 15,700  | 5.1%  |
| 健康保険課     | 1,756  | 10.3% | 0      | 0.0%  | 17,560  | 5.7%  |
| 農林水産課     | 2,016  | 11.8% | 0      | 0.0%  | 20,160  | 6.5%  |
| 農業委員会     | 191    | 1.1%  | 0      | 0.0%  | 1,910   | 0.6%  |
| 建設課       | 2,400  | 14.0% | 960    | 6.2%  | 33,600  | 10.9% |
| 上下水道課     | 3,314  | 19.4% | 0      | 0.0%  | 33,142  | 10.7% |
| 教育総務課     | 484    | 2.8%  | 8,559  | 55.6% | 90,430  | 29.3% |
| 生涯学習課     | 1,293  | 7.6%  | 3,036  | 19.7% | 27,404  | 8.9%  |
| 学校給食共同調理場 | 172    | 1.0%  | 1,608  | 10.5% | 17,808  | 5.8%  |
| 合計        | 17,089 | 100%  | 15,390 | 100%  | 308,909 | 100%  |

(2)「地球温暖化対策計画の概要」(令和 7 年 2 月、内閣官房・環境省・経済産業省)

(3)「第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画（概要版）」（令和5年3月）

#### (4) 用語集

## 【ア行】

### エネルギー起源 CO<sub>2</sub>

化石燃料の燃焼や化石燃料を燃焼して得られる電気・熱の使用に伴って排出される CO<sub>2</sub>。我が国の温室効果ガス排出量の大部分（約 9 割）を占めています。一方、「セメントの生産における石灰石の焼成」や、市町村の事務・事業関連では「ごみ中の廃プラスチック類の燃焼」などにより排出される CO<sub>2</sub> は、非エネルギー起源 CO<sub>2</sub> と呼ばれます。

### 温室効果ガス

大気中に拡散された温室効果をもたらす物質。とりわけ産業革命以降、代表的な温室効果ガスである CO<sub>2</sub> や CH<sub>4</sub> のほか、フロン類などは人為的な活動により大気中の濃度が増加の傾向にあります。地球温暖化対策推進法では、CO<sub>2</sub>、CH<sub>4</sub>、N<sub>2</sub>O に加えてハイドロフルオロカーボン（HFC）、パーフルオロカーボン（PFC）、六ふっ化硫黄（SF<sub>6</sub>）、三ふっ化窒素（NF<sub>3</sub>）の 7 種類が事務事業編の対象とする温室効果ガスとして定められています。

### 温室効果ガス総排出量

地球温暖化対策推進法第 2 条第 5 項にて、「温室効果ガスである物質ごとに政令で定める方法により算定される当該物質の排出量に当該物質の地球温暖化係数（温室効果ガスである物質ごとに地球の温暖化をもたらす程度の二酸化炭素に係る当該程度に対する比を示す数値として国際的に認められた知見に基づき政令で定める係数をいう。以下同じ。）を乗じて得た量の合計量」とされる温室効果ガス総排出量のことです。簡易版では、カギ括弧付きで表示しています。

## 【カ行】

### 活動量

一定期間における生産量、使用量、焼却量など、排出活動の規模を表す指標のことです。地球温暖化対策の推進に関する施行令（平成 11 年政令第 143 号）第 3 条第 1 項に基づき、活動量の指標が定められています。

具体的には、燃料の使用に伴う CO<sub>2</sub> の排出量を算定する場合、ガソリン、灯油、都市ガスなどの燃料使用量[L、m<sup>3</sup> など]が活動量になります。また、一般廃棄物の焼却に伴う CO<sub>2</sub> の排出量を算定する場合は、例えばプラスチックごみ焼却量[t]が活動量になります。

### カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します。

令和 2 年（2020 年）10 月、政府は令和 32 年（2050 年）までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

「排出を全体としてゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。

また、地球温暖化対策推進法においても、基本理念として令和 32 年（2050 年）までの脱炭素社会の実現が示されています。

### **環境マネジメントシステム**

組織や事業者が、その運営や経営の中で自主的に環境保全に関する取組を進めるに当たり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境管理」または「環境マネジメント」といい、このための工場や事業所内の体制・手続き等の仕組みを環境マネジメントシステムといいます。

### **環境配慮契約**

製品やサービスを調達する際に、環境負荷ができるだけ少なくなるような工夫をした契約です。

### **グリーン購入**

企業や国・地方公共団体が商品の調達や工事発注などに際し、できるだけ環境負荷の少ない商品や方法を積極的に選択する方法です。

### **原単位**

エネルギー使用量をエネルギーの使用と関係の深い量で除した値のことで、エネルギーの消費効率を比較する際に利用されます。例えば、建物の原単位は、年間のエネルギー使用量を建物の延べ床面積で除した単位延べ床面積当たりのエネルギー使用量[MJ/m<sup>2</sup>・年]となります。

### **【サ行】**

### **再生可能エネルギー**

エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律で「エネルギー源として永続的に利用することができると認められるもの」として、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱その他の自然界に存する熱、バイオマスが規定されています。これらは、資源を枯渇させずに繰り返し使え、発電時や熱利用時に地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>をほとんど排出しない優れたエネルギーです。

### **省エネ診断**

省エネルギーの専門家がエネルギー使用設備の状況等を現地調査し、設備の現状を把握するとともに、省エネルギーによるエネルギー消費の削減量等を試算する取組です。

## 政府実行計画

政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の削減等のため実行すべき措置について定める計画のこと。地球温暖化対策計画において、事務事業編に関する取組は、政府実行計画に準じて取り組むこととされている。

## 措置

地方公共団体が自ら講ずる地球温暖化対策に資する（削減効果が直接的な）行動のことを示します。

## 【タ行】

### 地球温暖化係数

CO<sub>2</sub>を基準にして、ほかの温室効果ガスがどれだけ温暖化させる能力を持つかを表した数字のことです。CO<sub>2</sub>に比べCH<sub>4</sub>は約28倍、N<sub>2</sub>Oは約265倍、フロン類は数百～数千倍の温暖化させる能力があるとされています。

### 地球温暖化対策計画

「パリ協定」や「日本の約束草案」を踏まえて、地球温暖化対策推進法第8条に基づき策定されました。この計画では、排出量の9割弱を占めるエネルギー起源CO<sub>2</sub>のうち、地方公共団体の事務・事業に伴う排出の多くが該当する商業・サービス・事務所等の「業務その他部門」は約51%削減が目標とされています。

## 【ナ行】

### ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）

先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制や自然光・風などの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、エネルギー自立度を極力高め、年間のエネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物です。

## 【ハ行】

### 排出係数

温室効果ガスの排出量を算定する際に用いられる係数のことです。温室効果ガスの排出量は、直接測定するのではなく、請求書や事務・事業に係る記録等で示されている「活動量」（例えば、ガソリン、電気、ガスなどの使用量）に、「排出係数」を掛けて求めます。

排出係数は、地球温暖化対策推進法施行令で、定められています。

<[https://www.env.go.jp/policy/local\\_keikaku/manual2.html](https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/manual2.html)>

## **パリ協定**

平成 27 年（2015 年）12 月にフランス・パリで開催された国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議（COP21）で採択された新たな国際的枠組みです。主要排出国を含む全ての国が削減目標を 5 年ごとに提出・更新すること等が含まれています。

## **【英字】**

### **PDCA**

Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）の 4 段階を繰り返すことによって、様々な業務を継続的に改善する手法です。

### **BEMS（Building Energy Management System）**

建築物全体での徹底した省エネルギー・省 CO<sub>2</sub>を促進するため、エネルギーの使用状況を表示し、照明や空調等の機器・設備について、最適な運転の支援を行うビルのエネルギー管理システムを指します。